

課題名：ロボット介護機器の安全基準ガイドライン策定に関する研究開発

代表機関／代表者：国立研究開発法人産業技術総合研究所／梶谷 勇

分担機関：国立大学法人信州大学、一般財団法人日本自動車研究所、一般社団法人日本ロボット工業会、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会

研究期間：令和3年10月～令和7年3月

研究開発目的

- 介護現場での生産性向上の必要性和、その一つ的手段としてのロボット活用
- ロボット介護機器の安全性確保の必要性
- 機器開発メーカーの支援のために安全基準の策定とガイドライン化
- 具体的な製品をふまえた定量的な基準の策定

取り組み

- 主要3分野（移乗介助（装着型、非装着型）と屋外移動支援）
- 現状分析に基づくガイドライン読者の明確化
- リスク分析に基づく安全要求事項決定
- 要求性の内や安全基準値の検討
- 試験方法の開発
- ガイドライン・標準化素案の作成

成果

- 主要3分野のガイドライン案と標準化素案を作成し、有識者らによるレビューに基づく修正案の作成

今後の展開

- 令和7年3月に主要3分野のガイドライン公開
- 令和7年度以降の標準化活動へ素案の提出

事業の進め方

